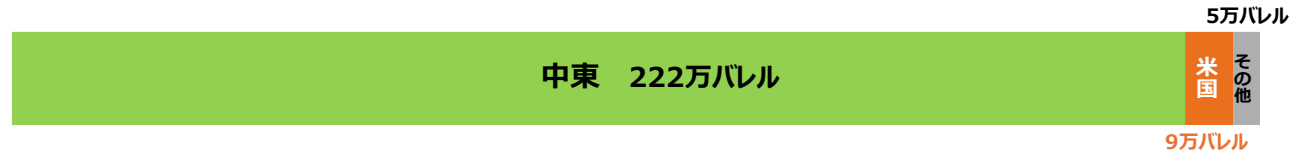


原油調達の動向

資料 5

- ホルムズ海峡を経由しない代替調達に官民連携の下、最大限取り組んでおり、中東や米国に加え、アジア太平洋、中南米、中央アジア、アフリカ等からも原油が届くなど、原油の調達先の多角化が進展。
- **6月**は、現時点で、前年平月比で**8割程度の調達が実現**できる見通し。**7月**については、**想定される今年の需要日量224万バレルを上回り、前年平月比で約10割の調達への回復に目途**が立ったところ。特に、**米国からは前年平月比で10倍以上（5月調達分から3倍以上）**が調達できる見通し。

2025年実績
日量236万バレル



4月調達分
調達率25% (日量59万バレル)



5月調達分
調達率約65% (日量153万バレル)



6月調達分
調達率約8割 (日量約190万バレル)



7月調達分
調達率約10割 (日量約240万バレル)



注1：4月の実績値は製油所に到達した原油量の総量であり、各種統計との誤差が生じることがある。

注2：6月8日時点。原油タンカーの配船・運航状況等により、遅れが生じれば日本着が後ろ倒しになるため、月ごとの調達量には変動が生じ得る。

注3：上記表示以外の詳細な国名やルートについては、民間企業の契約に関する事柄であることに加え、安全対策上の理由から非公表としている。